

所沢しあわせの里(相談支援事業) 相談援助実習 基本プログラム

| 段階 | 課題(ねらい) | 月日 | 実習課題(ねらい) | 具体的実習内容(体験項目) | 必要な価値・知識・技術 | 指導方法・留意点 | 教材 | チェック | |
|------------|---|------------|---|--|--|---|---|-------------------|--|
| 事前学習 | 実習に必要な基本知識を身につけておく。 | | 相談支援の最新の制度について勉強しておく。 | プリント(『サービス等利用計画作成サポートブック』第1章)を読んでおく。 | 知識: 障害者総合支援法、計画相談支援 | 自習による。 | ホームページよりダウンロード(日本相談支援専門員協会 > 調査研究) | | |
| 職場実習 | 相談支援事業所の概要(根拠法・人員体制・事業計画など)を理解する。 職場のルールを理解し、行動できる。 [3日間] | 1日目 / (月) | 職場のルールを理解し、行動できる。 相談支援事業所の概要を理解する。 | 職場のルールについて説明を受ける。 実習プログラムについて説明を受ける。 相談支援事業所の概要(根拠法、人員体制、利用状況、事業計画など)について説明を受ける 三ヶ島地区地域福祉ネットワーク会議を傍聴する。 | 知識: 障害者総合支援法、地域福祉活動計画 技術: コミュニティワーク(地域づくり) 価値: 利用者の最善の利益、誠実さ、おもてなし | [職場実習では、説明と自習を中心とする。すべてを理解するのではなく、職場の動き・雰囲気を感じ取るようにする。] 定例の業務: 三ヶ島地区地域福祉ネットワーク会議、報告書作成、請求事務 | 職員ガイドブック、障害者総合支援法、所沢市相談支援事業実施要綱、事業計画、『地域福祉活動計画in所沢』など | | |
| | | 2日目 / (火) | 相談支援事業について理解する。 | 相談支援事業について説明を受ける。 ピア・カウンセラーからピア・カウンセリングについての説明を受ける。 テキストで自習を行う。 | 知識: 相談支援事業、計画相談支援、地域相談支援、ピアカウンセリング、自立生活運動 | 定例の業務: ピア・カウンセリング(点字教室) | 『相談支援ガイドライン』(日本相談支援専門員協会)、『当事者主権』 | | |
| | | 3日目 / (水) | ソーシャルワークの基本的視点について理解する。 | ソーシャルワークの基本的視点、および相談支援事業との関係について説明を受ける。 テキストで自習を行う。 職場実習のまとめを行う。 | 知識: ソーシャルワークの定義 価値: 人権、権利擁護、当たり前の権利 | | 社会福祉士及び介護福祉士法、『社会福祉士の倫理』 | | |
| 職種実習 | 相談支援専門員の業務内容と役割について理解する。 [3日間] | 4日目 / (木) | 相談支援専門員の業務内容と役割を理解する。 ケアマネジメントの考え方を理解する。 | ケアマネジメントの考え方について説明を受ける。 相談支援で使用する書式について説明を受ける。 相談支援専門員の業務に同席・同行し、業務を観察・記録・分析する。 利用者のケース記録を閲覧する。 | 知識: ケアマネジメント、サービス等利用計画、直接支援と間接支援 価値: 自己決定 | [職種実習では、相談支援専門員の業務に同席・同行し、業務を観察・記録・分析することを中心とする。] | 相談受付票、計画相談支援契約書、『図説ケアマネジメント』『支援困難ケアマネジメント事例集』『サービス等利用計画作成サポートブック』など | | |
| | | 5日目 / (金) | 相談支援専門員の業務内容と役割を理解する。 | 相談支援専門員の業務に同席・同行し、業務を観察・記録・分析する。 利用者のケース記録を閲覧する。 | | | | | |
| | | 6日目 / (月) | 相談支援専門員の業務内容と役割を理解する。 | 相談支援専門員の業務に同席・同行し、業務を観察・記録・分析する。 利用者のケース記録を閲覧する。 職種実習のまとめを行う。 ソーシャルワーク実習についてのオリエンテーションを受ける。 | | | | | |
| ソーシャルワーク実習 | 相談支援専門員の業務遂行に必要な技術・価値・知識を習得する。 社会福祉士がどのような専門職であるかについての理解をまとめ上げる。 [18日間] | 7日目 / (火) | 援助関係の形成技術を習得する。 | 実習指導者と共に利用者(実習協力者)の自宅を訪問し、利用者との初回の面接を行う。 関係づくりを心掛けると共に、アセスメントのプロセスに入る。 関係機関・事業所からの情報提供について、書面にて利用者の同意を得る。 | 知識: 援助関係 技術: コミュニケーション、傾聴、面接技法、関係づくり、説明と同意 | [ソーシャルワーク実習では、「やってみて習得する」ことを中心とする。] | 『支援困難事例へのアプローチ』『ストレスモデル』 | | |
| | | 8日目 / (水) | 関係機関・事業所との連絡調整技術を習得する。 | 利用者(実習協力者)についての情報収集を行うため、関係機関・事業所の所在地・連絡先・交通手段等を調べる。 関係機関・事業所に電話し、訪問日時の調整を行う。 | 技術: 関係機関・事業所についての情報収集、連絡調整(アポ取り) | | | | |
| | | 9日目 / (木) | アセスメントの技術を習得する。 | 関係機関・事業所を訪問し、利用者(実習協力者)についての情報収集を行う。 〔障害福祉課、サービス事業所(A)〕 | 技術: アセスメント、関係機関からの情報収集 価値: 連携 | | | 『支援困難ケアマネジメント事例集』 | |
| | | 10日目 / (金) | 自立支援協議会について理解する。 | 自立支援協議会について説明を受ける。 自立支援協議会関係の資料を読む(会議録、『マニュアル』等)。 所沢市自立支援協議会・相談支援部会を傍聴する。 | 知識: 自立支援協議会 技術: コミュニティワーク(地域づくり)、ネットワークング 価値: 地域で支える | 定例の業務: 所沢市自立支援協議会・相談支援部会 | 『自立支援協議会の運営マニュアル』(日本障害者リハビリテーション協会) | | |
| | | 11日目 / (月) | アセスメントの技術を習得する。 | 関係機関・事業所を訪問し、利用者(実習協力者)についての情報収集を行う。 〔サービス事業所(B)、医療機関(訪問看護ステーション)〕 | 技術: アセスメント、関係機関からの情報収集 価値: 連携 | | | | |
| | | 12日目 / (火) | ストレス・アセスメントの技術を習得する。 | ストレス・モデルについて説明を受ける。 ストレス・アセスメントについて説明を受ける。 利用者(実習協力者)の自宅を訪問し、会話をしながら、利用者のストレス探しを行う。 | 知識: ストレス・モデル 技術: ストレス・アセスメント、関係づくり 価値: ストレス | 定例の業務: ピア・カウンセリング(点字教室) | 『ストレスモデル』 | | |

| | | | | | | | | | |
|------------|---|---|---|--|--|---------------------------------------|-----------------------------------|--|--|
| ソーシャルワーク実習 | 相談支援専門員の業務遂行に必要な技術・価値・知識を習得する。 社会福祉士がどのような専門職であるかについての理解をまとめ上げる。 【18日間】 | 13日目 / (水) | アセスメント・シートの作成技術を習得する。 | サービス等利用計画案別紙1・2(基本情報)を作成する。 ストレングス・アセスメント・シートを作成する。 | 技術:基本情報作成、ストレングス・アセスメント・シート作成 | | 『ストレングスモデル』 | | |
| | | 14日目 / (木) | 個別計画の作成技術を習得する。 | 個別計画の作成について説明を受ける。 実習指導者と共に利用者(実習協力者)の自宅を訪問、利用者とともに個別計画を作成し、利用者の同意を得る。 | 技術:プランニング、説明と同意 価値:本人主体、パートナーシップ | | 『ストレングスモデル』 | | |
| | | 15日目 / (金) | 地域課題の考え方について理解する。 事例検討の技術を習得する。 | 所沢市自立支援協議会・くらし部会(または、こども部会)を傍聴する。 | 知識:自立支援協議会 技術:事例検討、コミュニティワーク(地域づくり)、ネットワーキング 価値:地域で支える | 定例の業務: 所沢市自立支援協議会・くらし部会(または、こども部会) | | | |
| | | 16日目 / (月) | 介入(インターベンション)の技術を習得する。 | 個別計画に基づき、計画を実行する。必要であれば、利用者(実習協力者)との打ち合わせ(日程調整等)、サービス事業所等との連絡・調整等を行う。 | 技術:介入、連絡・調整 | | | | |
| | | 17日目 / (火) | 地域の社会資源を知る。 | 所沢市の社会資源について調べ、一覧にまとめる(施設・相談機関・サービス事業者など)。 他施設の見学に行く機会があれば、職員に同行する。 希望があれば、他施設に電話し、施設見学の依頼をする。 | 知識:地域の社会資源 技術:社会資源を調べる技術、連絡調整 | 施設見学をする際は、事前に、実習指導者より相手方に連絡を入れておく。 | 障害者福祉ガイド(所沢市障害福祉課作成)、ガイドマップとところざわ | | |
| | | 18日目 / (水) | 精神科病院に対する退院支援のアプローチについて学ぶ。 | こあふるサロンについて説明を受ける。 こあふるサロンに参加する。 | 知識:精神科医療制度、障害者権利条約、地域相談支援 技術:アウトリーチ、グループワーク 価値:リカバリー、地域で生活する権利 | 定例の業務: こあふるサロン | 『SSTウォーミングアップ活動集』 | | |
| | | 19日目 / (木) | 地域の社会資源を知る(2)。 | 所沢市の社会資源について調べ、一覧にまとめる(施設・相談機関・サービス事業者など)。 事前に予約した他施設の見学に行く。 見学した施設の概要やソーシャルワーカーの役割などについて、レポートをまとめる。 | 知識:地域の社会資源 技術:社会資源を調べる技術、連絡調整 | | 障害者福祉ガイド(所沢市障害福祉課作成)、ガイドマップとところざわ | | |
| | | 20日目 / (金) | 【予備日1】 サービス担当者会議(個別支援会議)の役割について理解する。 | サービス担当者会議(個別支援会議)に同席する機会があれば同席する。 | 技術:サービス担当者会議の開催・運営、司会技術、チーム形成 価値:チームアプローチ | | 『支援困難事例へのアプローチ』 | | |
| | | 21日目 / (月) | グループ・スーパービジョンの手法を習得する。 | グループ・スーパービジョンについて説明を受ける。 グループ・スーパービジョンで報告するための資料を準備する。 グループ・スーパービジョンで事例を報告し、メンバーから支援のアイデアをもらう。 | 技術:グループ・スーパービジョン、ブレイン・ストーミング 価値:ストレングス、「地域は資源のオアシス」、チームアプローチ | | 『ストレングスモデル』 | | |
| | | 22日目 / (火) | 【予備日2】 相談支援専門員の仕事の中に具現化されているソーシャルワークの知識・技術・価値について考察し、理解する。 | 相談支援専門員の業務に同席・同行し、業務を観察・記録する。 相談支援専門員の仕事の中にソーシャルワークの知識・技術・価値がどのように具現化されているか、考察し、シートにまとめる。 | | | | | |
| 23日目 / (水) | モニタリング・評価・終結の技術を習得する。 | 利用者(実習協力者)の自宅を訪問し、個別計画のモニタリングを行う。実習への協力について、謝意を伝える。 必要であれば、サービス事業者と連絡を取り、サービスの実施状況について報告を受ける。 モニタリングの結果を記録する。 | 技術:モニタリング、評価、終結 | | | | | | |
| 24日目 / (木) | 社会福祉士がどのような専門職であるかについての理解をまとめ上げる。 | 実習のまとめを行う。 | 知識:社会福祉士とは?ソーシャルワークとは? 技術:利用者と環境が相互作用する場への介入(ソーシャルワーク介入) 価値:人権、権利擁護 | | 社会福祉士及び介護福祉士法、 『社会福祉士の倫理』 | | | | |